



議題1

報道機関 各位

記者発表資料

平成27年12月9日（水）

【国際盆栽シンポジウムについて】

問い合わせ先：大宮盆栽美術館

担当：田口、渋谷

電話：780-2091

【盆栽を活用した世界盆栽大会

PR事業について】

問い合わせ先：観光国際課

担当：渡辺、石井、島村

電話：780-2091

内線：4794、4795

「第8回世界盆栽大会 in さいたま」開催に向けた取組について

2017年4月27日（木）から4月30日（日）において「第8回世界盆栽大会 in さいたま」がさいたま市にて開催されます。

さいたま市が世界に誇る盆栽文化をより一層広く国内外に発信し、大会開催の気運の醸成を図るため、関連した事業を下記のとおり実施しますのでお知らせします。

記

1 「国際盆栽シンポジウム」について

(1) 開催趣旨

近年、盆栽は世界の共通語「BONSAI」として海外への発展は著しいものがあり、世界各地に地域特有の様々な盆栽文化を生み出しております。

今回のシンポジウムは、第8回世界盆栽大会（2017年4月）を控え、その気運を醸成するために実施いたします。盆栽の国際化を受けて、世界に広がる盆栽の魅力や、盆栽文化のあるべき将来像を描いていきます。

(2) 開催日時 平成28年2月11日（祝・木）午後1時～午後4時30分

(3) 会場 よみうり大手町ホール（東京）
東京都千代田区大手町1-7-1

(4) テーマ 世界の *BONSAI* 文化 - 人はなぜひかれるか

(5) 開催内容

美術の専門家や海外の盆栽家などを招いて、盆栽とその文化的魅力を語ります。

① 基調講演

高階秀爾氏（たかしな しゅうじ）

（大原美術館館長、国立西洋美術館振興財団理事長、文化勲章受章者）

テーマ「日本人にとって美しさとは」

② 狂言「盆山」公演

出演：九世野村万蔵（狂言和泉流野村万蔵家当主）

協力：株式会社萬狂言

③ パネルディスカッション

コーディネーター：

石上城行氏（いわがみ しろゆき）

（さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会委員、埼玉大学准教授）

パネリスト：高階秀爾氏

竹山浩氏（日本盆栽協会顧問、大宮盆栽村「芙蓉園」園主）

山田香織氏（彩花盆栽教室主宰、大宮盆栽村「清香園」5代目）

エドアルド・ロッシ氏（イタリア エウガネア盆栽協会副会長）

桐島ローランド氏（写真家、映像作家、クリエイター）

(6) 参加対象 一般来場者 400 名（先着順）

(7) 参加費用 無料（要事前申込）

(8) 申込期間 平成 27 年 12 月 11 日（金）～平成 28 年 1 月 25 日（月）（必着）

(9) 申込方法 ①さいたま市大宮盆栽美術館受付に直接又ははがきで申込み

②さいたま市大宮盆栽美術館ホームページから申込み

<http://www.bonsai-art-museum.jp>

※その他、詳しくは、さいたま市大宮盆栽美術館ホームページへ

(10) 主催 さいたま市（所管：スポーツ文化局文化部大宮盆栽美術館）

(11) 後援 日本盆栽協会、世界盆栽友好連盟、日本盆栽作家協会、読売新聞社

日本経済新聞社、埼玉新聞社、NHK さいたま放送局、テレ玉

JR 東日本大宮支社、東武鉄道、埼玉県、日本政府観光局

さいたま観光国際協会

2 盆栽を活用した世界盆栽大会PR事業について

(1) 内容 見せる広告として、本市の代表的な観光資源である盆栽を各関係機関の窓口等に設置し、埼玉県産の間伐材で作成した木製プレートも併せて展示します。

(2) 目的 ①市内を中心に、市民のみならず、市内事業者と一緒に大会を盛り上げる雰囲気づくり。

②それぞれの設置場所の集客力により、あらゆる世代に関心を持ってもらう。

(3) 設置時期 平成 28 年 1 月から順次実施

※庁内、区役所、ときわ会館、JACK大宮は設置済

(4) 設置場所 観光国際協会を通じた団体、商工会議所の会員、市内各メディア、金融機関、ホテル等

《設置している様子》



ときわ会館フロント



JACK大宮



木製プレート

※埼玉県産の間伐材を利用し、県内の授産施設で作製したものです。